

令和3年度（第14期第8回）小平市廃棄物減量等推進審議会 会議要録

1 日時

令和4年5月13日（金） 午後2時～4時

2 場所

小平市リサイクルセンター 2F 会議室

3 出席者

○市長

○小平市廃棄物減量等推進審議会委員 16名

山谷修作会長、渡辺浩平副会長、滝沢三千代副会長、青野敬吾委員、伊集院千津代委員、出雲崎暁子委員、川里賢太郎委員、木村源一委員、先山厚子委員、丹治由紀子委員、内藤章委員、岸野好江委員、林周子委員、山下美弥子委員、山本智代委員、吉浦高志委員

○事務局 7名

環境部長、資源循環課長、資源循環課長補佐、資源循環課推進担当係長、資源循環課管理担当1名、資源循環課推進担当2名

4 傍聴者

0名

5 議題

「小平市一般廃棄物処理基本計画の策定について」（基本的事項）に係る答申について

6 リサイクルセンター広場見学

7 答申

小平市廃棄物減量等推進審議会会長より市長に答申

8 配布資料

答申書案「小平市一般廃棄物処理基本計画の策定について」（基本的事項）

資料1

9 内容

<議事>

(1) 「小平市一般廃棄物処理基本計画の策定について」(基本的事項)に係る答申について
(事務局)

資料1について、答申書案について説明。

(渡辺副会長)

これでいいと考える。処分費という表現については、条例等ではこのようになっているので、処分費という表現を用いているという理解でよいか。

(事務局)

第13期の答申書において処分費という文章があり、第14期の答申書案にはこちらの表現をそのまま記載していることによる。よって、(以下：本審議会中、手数料のこと)という補助記載をしている。

(渡辺副会長)

本来は、手数料が正しいと考える。今後は、どこかで一本化していく必要があると考える。

(青野委員)

この答申案は、大変格調の高いものとなっている。審議会での我々の意見が十分反映されていると考える。一番の問題は、資源のリサイクルをもっとしっかりやることになるが、正確な分別が難しいため、引き続き、きめ細かく啓発していく必要がある。食品ロスの削減についても、これから非常に大切な問題になってくると考える。

<リサイクルセンター広場見学>

令和4年3月24日にオープンしたリサイクルセンター広場の見学を実施。

<答申>

(山谷会長)

令和2年7月28日付けで市長から諮問を受け、「小平市一般廃棄物処理基本計画の策定について」(基本的事項)に関して、本審議会では2年間、計8回にわたり審議を重ねてきた。ここに、審議の結果をとりまとめたので、本日、答申する。次期小平市一般廃棄物処理基本計画の基本的事項の審議にあたっては、市の資源循環行政における計画の位置づけを意識しながら検討してきた。今後、基本計画について、さらに本格的な議論が行われ、計画の策定が進められるものと思うが、計画の策定に当たっては、市民の意見を積極的に集めると共に、計画に反映していき、計画案がまとまった際には、市民への丁寧な周知に努められることを要望する。以上、よろしくお願いいたします。

(市長)

ただ今、山谷会長より、「小平市一般廃棄物処理基本計画の策定について」（基本的事項）の答申をいただいた。委員の皆様には、これまで熱心にご議論をしていただいたと聞いている。この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。また、審議会の皆様には、次期一般廃棄物処理基本計画において、新たに盛り込むこととなった「食品ロス削減推進計画」の策定の基礎となる、食品ロスに関する貴重なご意見を伺った。さらに、計画の基本理念として、「こつこつ小平「もったいない」が根づくまち」を、引き続き、採用することとした。この基本理念を反映させた次期一般廃棄物処理基本計画については、来年の3月頃に策定の予定している。市としては、審議会の皆様からいただいたご意見を可能な限り反映しながら、次期一般廃棄物処理基本計画の策定を行う。本日、いただいた答申の内容を真摯に受け止め、引き続き、3Rを一層推進していくとともに、計画策定後は施策の実現に向けて、全力を挙げて取り組む。本日は誠にありがとうございました。